

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

骨髄増殖性腫瘍の実態調査

2. 研究の対象患者

当院を受診された骨髄増殖性腫瘍（真性多血症、本態性血小板血症、骨髄線維症などの疾患含む）の患者さん。

3. 研究の対象期間

2012年7月1日～2018年11月30日

4. 研究の概要

骨髄増殖性腫瘍（Myeloproliferative Neoplasm Symptom: MPN）は、多能性幹細胞のレベルで生じるクローン性の増殖によって引き起こされ、それによって骨髄内の赤血球、白血球、血小板前駆細胞が様々な程度に異常増殖をきたす疾患である。近年、エリスロポエチンに対する細胞内シグナル伝達等に関わるJAK2チロシンキナーゼの異常が、真性赤血球増加症、本態性血小板血症、骨髄線維症の原因の一因となることがあきらかとなり、病態の解明が進みつつある。原発性骨髄線維症を除いて、本邦における骨髄増殖性腫瘍の臨床像、予後因子、薬物療法、造血幹細胞移植治療成績等に関するまとまった報告は少ない。以上から、骨髄増殖性腫瘍（真性赤血球増加症、本態性血小板血症、骨髄線維症（原発性骨髄線維症、及び他の血液疾患による二次性骨髄線維症）の臨床像を明らかにする。

5. 研究実施予定期間

2017年11月22日～2018年12月31日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：患者識別コード、年齢、性別、病名（診断根拠）、診断日、発症時期、症状、理学所見、画像診断所見、臨床検査値、血液細胞染色体分析、骨髄検査所見、治療内容（薬剤、輸血、脾摘、造血幹細胞移植など）、臨床経過（生存期間、無増悪生存期間など）

7. 外部への試料・情報の提供

研究代表施設（宮崎大学医学部）に送付

8. 研究組織

宮崎大学医学部 下田和哉

名古屋第一赤十字病院 伊藤 雅文

日本血液学会認定研修施設 (<http://www.jshem.or.jp/modules/shisetsu/>)

9. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

・ 研究責任者：血液内科 田中 宏明

・ 臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)

(研究代表者)

宮崎大学医学部内科学講座消化器血液学分野 下田 和哉